

区別計画策定に向けた検討シート（中区）

1 区の概況

人口・世帯	<ul style="list-style-type: none"> ・人口は146,265人（H27国勢調査速報値）と、本市の20.3%を占め、4区の中で3番目。平成22年国勢調査からの増加率2.8%は4区の中で最大。 ・人口密度は2,854.0人/k㎡と市平均の910.9人/k㎡を大きく上回り、4区の中で最大（H27国勢調査速報値）。 ・高齢者人口比率は21.2%（H22国勢調査）であり、市平均よりも若干低いが、高齢者人口比率が30%を超える地域もある。 ・年少人口比率は15.2%（H22国勢調査）で、市平均の14.3%を上回り、南区と並び4区の中で最大。 ・一世帯あたりの人員数は2.38人（H27国勢調査速報値）であり、単独世帯の割合は4区の中で2番目に多い。 ・夜間人口が昼間人口を約1万3千人上回る流出超過となっており、流出超過人数は4区の中で最大。 				
地勢・都市環境	<ul style="list-style-type: none"> ・中区は旭川の東、市のほぼ中央に位置し、面積は51.25k㎡と市全体に占める割合は6.5%で、4区の中では最小。 ・北には龍ノ口山、中央には操山の丘陵地、西には旭川、東にはその放水路である百間川、南部には児島湾に面した干拓による豊かな平野が広がる。 ・市街化区域面積が都市計画区域面積の48.2%（H24年3月末）を占めており、4区の中で最も高い。また、都市的土地利用が50%を超えており、宅地の占める割合が31.7%（H24年3月末）と、4区の中で最も高い。 ・市街地は大きく分けて、旧城下町の一部として古くから発展してきた東山・操山の西の旭川沿いの地域、操山より北で国道250号及び山陽本線に沿って東西に連たんする地域、操山より南の県道岡山牛窓線に沿って住宅開発が進められてきた地域とに分けられる。 ・区域の大部分が旭川と百間川とに挟まれ、操山以南の干拓地は海拔が低い。 ・南部には干拓地を中心に優良農地が広がり、米作を中心とした農業生産の重要な役割を担っている。 ・岡山港（高島地区）周辺や広域幹線道路沿線においては、工業・物流機能が集積。 ・JR山陽本線が東西に延び、区内には3駅があり、通勤、通学を始め多くの人に利用されている。 				
地域資源	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">歴史文化伝統</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・龍ノ口山の南麓には、この地域が備前地域の中心地であったことを示す賞田廃寺、幡多廃寺といった古代寺院跡や律令時代の備前国庁跡があり、操山周辺には金蔵山古墳などの古墳群や曹源寺、安住院等の歴史・文化遺産が存在。 ・津田永忠による倉田新田・沖新田開発と倉安川、百間川開削などの大規模な農業・土木遺産のほか、旭川のケレップ水制群等の土木遺産が存在。 ・歴史的にみて、中区には岡山藩の医学館に始まり、旧制第六高等学校や岡山師範学校など、数多くの学校を有してきた。 ・児童福祉の父と呼ばれる石井十次や岡山博愛会のアリス・ペティー・アダムスが活動するなど、福祉分野において先駆的な取組がなされてきた伝統がある。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">自然景観</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・龍ノ口山と操山は市街地に隣接する里山として、景観、生物多様性の面から貴重な緑地空間となっており、市民に憩いの空間を提供している。 ・旭川、百間川の水辺、倉安川、祇園用水など田園の中を網の目のように流れる水路群等は多様で豊かな水辺空間でもあり、日本固有種で、今や岡山と京都にのみ生息するアユモドキ（天然記念物）が生息する地域がある。 ・高島地域は市中心部から近い地域でありながら、市内でも有数のホテルの生息地となっている。 </td> </tr> </table>	歴史文化伝統	<ul style="list-style-type: none"> ・龍ノ口山の南麓には、この地域が備前地域の中心地であったことを示す賞田廃寺、幡多廃寺といった古代寺院跡や律令時代の備前国庁跡があり、操山周辺には金蔵山古墳などの古墳群や曹源寺、安住院等の歴史・文化遺産が存在。 ・津田永忠による倉田新田・沖新田開発と倉安川、百間川開削などの大規模な農業・土木遺産のほか、旭川のケレップ水制群等の土木遺産が存在。 ・歴史的にみて、中区には岡山藩の医学館に始まり、旧制第六高等学校や岡山師範学校など、数多くの学校を有してきた。 ・児童福祉の父と呼ばれる石井十次や岡山博愛会のアリス・ペティー・アダムスが活動するなど、福祉分野において先駆的な取組がなされてきた伝統がある。 	自然景観	<ul style="list-style-type: none"> ・龍ノ口山と操山は市街地に隣接する里山として、景観、生物多様性の面から貴重な緑地空間となっており、市民に憩いの空間を提供している。 ・旭川、百間川の水辺、倉安川、祇園用水など田園の中を網の目のように流れる水路群等は多様で豊かな水辺空間でもあり、日本固有種で、今や岡山と京都にのみ生息するアユモドキ（天然記念物）が生息する地域がある。 ・高島地域は市中心部から近い地域でありながら、市内でも有数のホテルの生息地となっている。
歴史文化伝統	<ul style="list-style-type: none"> ・龍ノ口山の南麓には、この地域が備前地域の中心地であったことを示す賞田廃寺、幡多廃寺といった古代寺院跡や律令時代の備前国庁跡があり、操山周辺には金蔵山古墳などの古墳群や曹源寺、安住院等の歴史・文化遺産が存在。 ・津田永忠による倉田新田・沖新田開発と倉安川、百間川開削などの大規模な農業・土木遺産のほか、旭川のケレップ水制群等の土木遺産が存在。 ・歴史的にみて、中区には岡山藩の医学館に始まり、旧制第六高等学校や岡山師範学校など、数多くの学校を有してきた。 ・児童福祉の父と呼ばれる石井十次や岡山博愛会のアリス・ペティー・アダムスが活動するなど、福祉分野において先駆的な取組がなされてきた伝統がある。 				
自然景観	<ul style="list-style-type: none"> ・龍ノ口山と操山は市街地に隣接する里山として、景観、生物多様性の面から貴重な緑地空間となっており、市民に憩いの空間を提供している。 ・旭川、百間川の水辺、倉安川、祇園用水など田園の中を網の目のように流れる水路群等は多様で豊かな水辺空間でもあり、日本固有種で、今や岡山と京都にのみ生息するアユモドキ（天然記念物）が生息する地域がある。 ・高島地域は市中心部から近い地域でありながら、市内でも有数のホテルの生息地となっている。 				

区別計画策定に向けた検討シート（中区）

	特産品	農産物等：沢田の柿、酒米最高品種の雄町米、全国名水百選の一つ雄町の冷泉
	公共施設	<ul style="list-style-type: none"> ・操山公園里山センターは、市民の自然体験活動の拠点となっている。 ・岡山の海の玄関である新岡山港（高島地区）は岡山と小豆島とを結ぶフェリーの発着口として利用されている。 ・大学2校、高等学校6校があり、東の文教地区としての機能を担っている。
主な市の出先機関		<ul style="list-style-type: none"> ・中区役所 ・1 地域センター（富山） ・中区福祉事務所 ・中区保健センター ・6 公民館（中央、東、操南、富山、高島、東山）